

## 復興支援フォーラムニュース No.21

(URL <http://www.5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html> )

<事務連絡先 今野順夫([tkonno67@gmail.com](mailto:tkonno67@gmail.com)) 中井勝己(024-548-8313)>

### 第 18 回フォーラム（「放射能災害と子どもたち」）でのご意見等

★色々な立場の方の意見を伺えて良かったです。伝え合うこと、学びあうこと、こういうことを続けていくことが大切なのだとおもいました。(N.S)

★除染への取り組み等、勉強になりました。(T.H)

★頼りにならない行政に頼らず、保育者、保護者一体となった放射線不安の対応には感銘を受けた。未来（復興・再生）の担い手たる子供達のための国・行政の徹底した対応を求める。(R.N)

★市内では、線量の高い地域における放射線への対応、努力の原点が良く解りました。行政の支援のあり方が問題です。柔軟性がほしいと思います。(K.F)

★子供さん達の現実を聞き、保育所の先生方のご苦勞に胸が痛い気持ちです。(K.Y)

★現場で活動しているからこそできる発言が多く、とても参考になった。特に、保護者とうまくコミュニケーションを取ることができたのは、今までの懇談会の賜物と思った。(Y.I)

★斎藤先生方の子どもの保育に対する熱意とご努力に非常に感銘を受けました。(Y.S)

★さくら保育園のみなさんの子供たちを放射能から守るための真摯な姿勢に頭が下がります。昨年あのひどい状況の中で、子供達の安全に配慮しながら最大限に子供達を遊ばせる。放射線量も減らすための実際の体験を通して安心を得るための努力を見習っていきたいと思います。安齋育郎が、アドバイザーになっているというのは、すごいです。(K.Y)

★いろいろためして、少しでも元に戻すことを怠ってはいけません。まだまだ始まったばかりです。(S.K)

★子ども達を取り巻く現状や思い遣りが、非常に良く分かりました。ありがとうございました。(S.O)

★被災者で避難した人、残った人を分けたのは何か、分かれたのはどういう状況か、触れただけだとありがたかった。この 1 年間、懸命に誠実に努力してこられたことが良く伝わってくる報告であった。(S.I)

★園として、プールや外遊びを提案したということについて、その源泉は、①ひたすら学ぶこと。②保育のプロとしての誇り、との斎藤園長のお話にはたいへん感動した。(J.M)

★貴重なお話をたくさんお聞かせいただきありがとうございました。宮城からの参加で、宮城では聞くことができない福島の実態を聞かせていただきました。「子ども」という視点から復興を考える重要性を強く感じました。問題がそれぞれであるとは思いますが、目指すところは同じだと思うので、今回の話を生かして復興をしていけたらと思います。

(Y.O)

★ 様々な問題と向き合いながら、子どもたちに寄り添い続けられている保育現場の現状をよく知ることができた。多くの制限が、こどもの育ちに、どのような影響を与えるのか心配もあるが、先生方の取り組みや、安齋先生ら外部の方とのつながりが、子どもたちや保

護者の未来に（大きな）良い影響を与えてくれるのではないか・・・。期待を込めて、そう感じました。（F.D）

★子ども、保育の問題が、復興における特殊問題でなく、大きな一つの柱だと思いました。子どもを守ることを原点に、保護者との連帯、単なる精神論でない具体的な実践、やはり復興は住民の力だと思いました。復興活動・子どもを守る活動を通じて、この国に欠けている民主主義の復権に期待しました。この期に、福島の行政のあり方の改革を切に望んでいます。（T.K）